

## 安全データシート

整理番号 OCIQL201901-007

作成日 2019年 1月 8日

1.	製品及び会社情報	製品名 : OCカー HS-Y 会社名 : OCI 株式会社 住所 : 神戸市西区高塚台 4 丁目 3-6 担当部門 (担当者) : 品質保証部 TEL 番号 : 078-992-1106 FAX 番号 : 078-992-1108 連絡先 : 同上
----	----------	---

2.	危険有害性の要約	GHS 分類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引火性液体 区分3 (推定)</li> <li>・急性毒性 (経口) 分類できない</li> <li>・急性毒性 (経皮) 分類できない</li> <li>・皮膚腐食性及び皮膚刺激性 分類できない</li> <li>・眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 区分2</li> <li>・呼吸器感作性 分類できない</li> <li>・皮膚感作性 分類できない</li> <li>・生殖細胞変異原性 分類できない</li> <li>・発がん性 区分1</li> <li>・生殖毒性 区分1</li> <li>・特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 分類できない</li> <li>・特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分1</li> <li>・吸引性呼吸器有害性 分類できない</li> <li>・水生環境有害性 (急性) 分類できない</li> <li>・水生環境有害性 (長期間) 分類できない</li> </ul>
----	----------	--------	--

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性液体および蒸気  
 強い眼刺激  
 発がんのおそれ  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

**【安全対策 (予防策)】**

- ・ご使用前にSDSをお読みください。
- ・熱/火花/裸火/高温等の着火源から遠ざけること。
- ・保護手袋/保護眼鏡等を着用すること。
- ・換気の良い場所使用し、蒸気を吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

		<p><b>【応急処置 (対応)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚や衣服に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。</li> <li>・目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。直ちに医師に相談すること。</li> <li>・眼の刺激が持続する場合：医師の診断/手当を受けること。</li> <li>・ばく露またはその懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。</li> <li>・気分が悪い時：医師の診断/手当を受けること。</li> </ul> <p><b>【保管】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・密封し冷暗所に保管すること。</li> </ul> <p><b>【廃棄】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容物/容器の廃棄は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</li> </ul>
3	組成、成分情報	<p>単一製品・混合品の区別 化学名又は一般名 成分および含有量</p> <p>：混合物 ：食品添加物 着色料製剤 ：クチナシ黄色素(色価5000) 2.8%、プロピレングリコール25.0%、グリセリン5.0%、グリセリン脂肪酸エステル 0.2%、ショ糖脂肪酸エステル0.2%、エタノール 11.4%、食品素材55.4%</p>
4	応急措置	<p>吸入した場合 ：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させる。気分が悪いときは、医師に連絡する。</p> <p>皮膚に付着した場合 ：多量の水と石鹼で洗う。水疱、痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。</p> <p>眼に入った場合 ：水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受ける。</p> <p>飲み込んだ場合 ：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。</p>
5	火災時の措置	<p>消火剤 使ってはならない消火剤</p> <p>：水噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂等を用いる。 ：特になし。</p>
6	漏出時の措置	<p>人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置</p> <p>：作業の際には保護具（ゴム手袋、保護眼鏡等）を着用する。</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p>：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。</p> <p>封じ込め及び浄化の方法 及び機材</p> <p>：吸着剤（おがくず、土、砂、ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。</p>
7	取り扱い保管上の注意	<p>取り扱い 技術的対策</p> <p>：取扱は換気のよい場所で行う。眼、皮膚、衣類に付けないこと。</p> <p>安全取扱注意事項</p> <p>：マスク、保護手袋 及び保護眼鏡/保護面を着用すること。</p> <p>保管 安全な保管条件</p> <p>：密封し、冷暗所に保管すること。</p>
8	暴露防止および保護措置	<p>保護具</p> <p>：マスク、保護手袋、保護眼鏡。</p>

9	物理的および化学的性質	外観	
		形状	: 液体
		色	: 黄色
		臭い	: わずかに臭気あり
		pH	: 5.5~7.5
		沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
		引火点	: データなし
		燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: データなし
		蒸気圧	: データなし
		比重	: データなし
自然発火温度	: データなし		
10	安定性および反応性	化学的安定性	: 通常の使用条件では、安定で、自己重合性はない。
		反応性	: 通常の条件下では、反応性はない。
		危険有害反応可能性	: 特記すべき反応性はない。
11	有害性情報	成分名エタノール	: 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 (区分 2B)、発がん性 (区分 1A)、生殖毒性 (区分 1A)、特定標的臓器特性 (単回: 気道刺激性 (区分 3))、特定標的臓器特性 (反復: 区分 1 (肝臓)、区分 2 (中枢神経系))
12	環境影響情報	水生環境有害性 (急性)	: 分類できない。
		水生環境有害性 (長期間)	: 分類できない。
		生態毒性	: 混合物としての知見なし。
		残留性・分解性	: 混合物としての知見なし。
		生態蓄積性	: 混合物としての知見なし。
		土壌中の移動性	: 混合物としての知見なし。
オゾン層への有害性	: 混合物としての知見なし。		
13	廃棄上の注意	残余廃棄物	: 都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
14	輸送上の注意	国内規制	
		陸上輸送	: 労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
		海上輸送	: 船舶安全法、港則法等に定められている輸送方法に従う。
		航空輸送	: 航空法等に定められている輸送方法に従う。
		輸送又は輸送手段に関する特別の安全策	: 容器を転倒、落下等粗暴な取扱をしない。
		緊急時対応措置指針	: 火気注意
		国際規制	
		国連番号	: 非該当
		国連輸送名	: 非該当
		国連分類	: 非該当
		容器等級	: 非該当
		海洋汚染物質	: 非該当
		15	適用法令
消防法	: 非危険物 (アルコール類除外)		
船舶安全法	: 非該当		
海洋汚染防止法	: 非該当		
食品衛生法	: 食品添加物 (使用基準 有) こんぶ類、食肉、鮮魚介類 (鯨肉を含む)、茶、のり類、豆類、野菜及びわかめ類に使用してはならない。 最終食品に対して、プロピレングリコールが生めん、いかくん製品 2.0%未満、ギョウザ、シュウマイ、春巻及びワンタンの皮 1.2%未満、その他の食品 0.60%未満の範囲で使用しなければならない。 : 着色料 (クチナシ)		
食品への表示例			

16 その他

本データシートに含まれる情報は、弊社の知見に基づき誠意を持って参考情報として提示しているもので、これにより何ものをも保証するものではありません。

また、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合は新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

なお、ここに記載されている情報は新しい知見に基づき改訂することがあります。